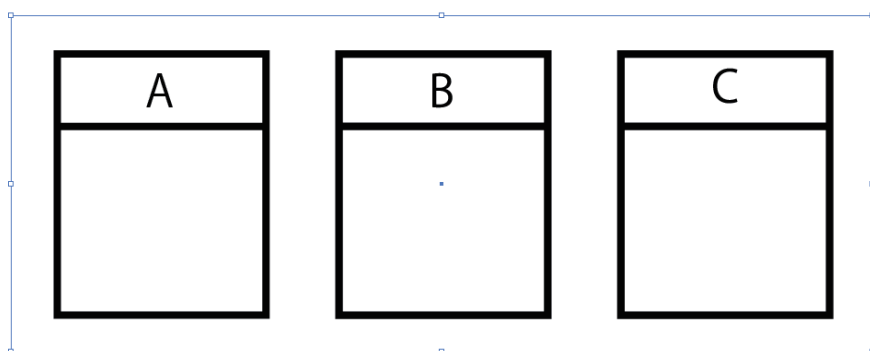
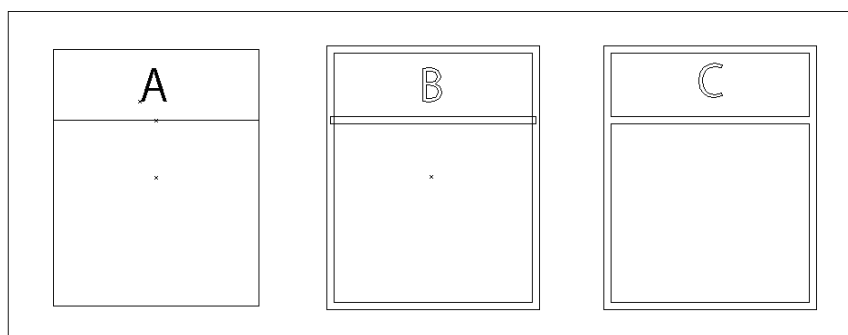


◆ イラストレーターからインポートする印面データの作り方

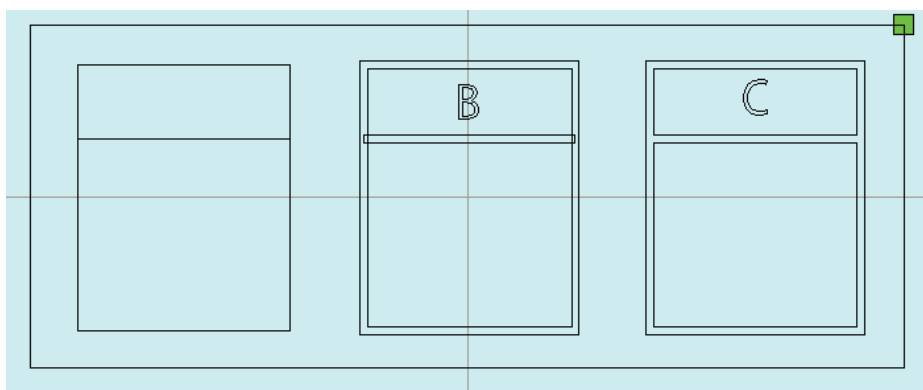
下記イラストレーターで作成したデータです。
プレビュー画面では一緒にみえます。



しかしアウトライン表示 (Ctrl + Y) にすると違うことが分かります



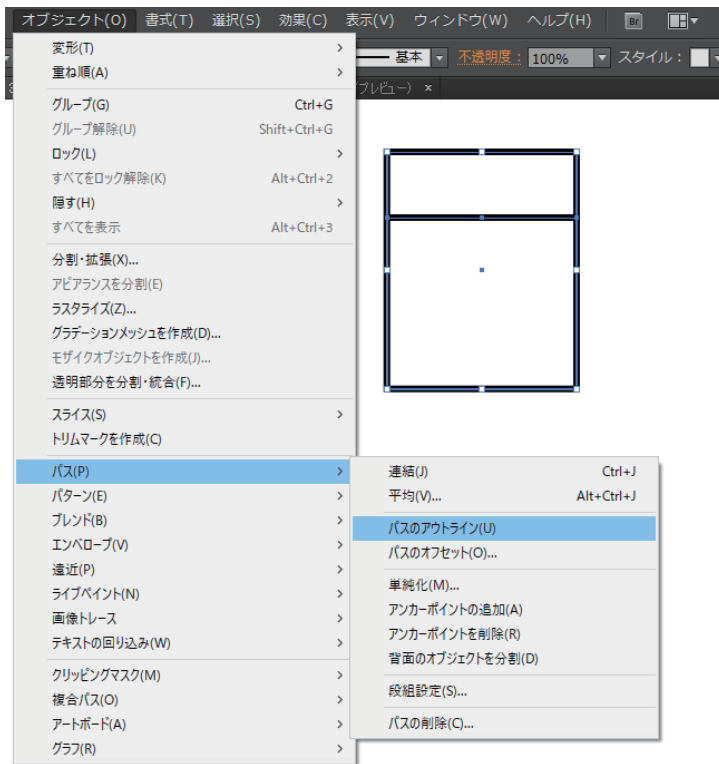
これらをインポートしますと C のみ正確に出力がされます。



アウトライン化されていないと正確に彫刻が出来ません。

閉じたパスの範囲内が彫刻の対象となり、
イメージとしては、塗りのある図形部分を彫刻する形になります。

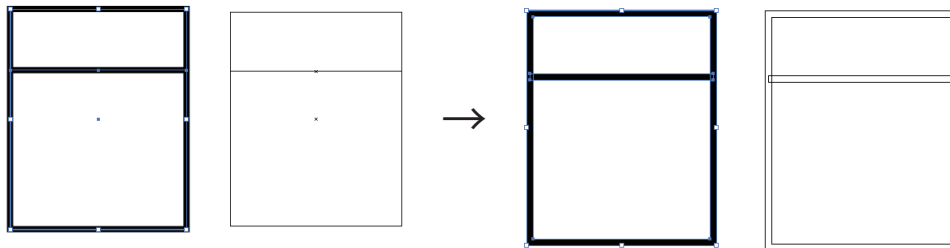
線のみでパスで作成したデータを選択し、
オブジェクト → パス → パスのアウトライン化 までさせます。



線データ

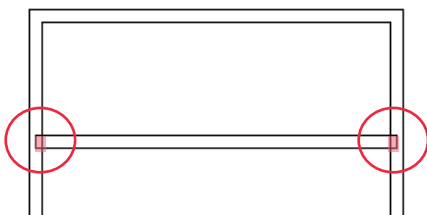


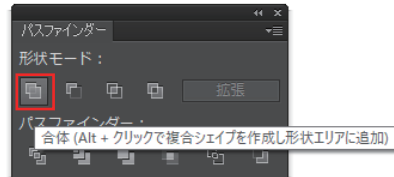
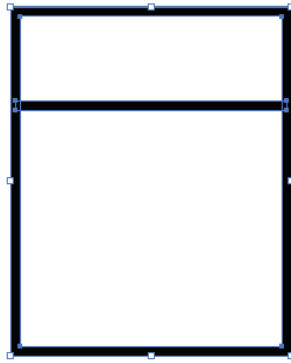
アウトライン化後



アウトライン化することにより塗りのデータに変換されました。

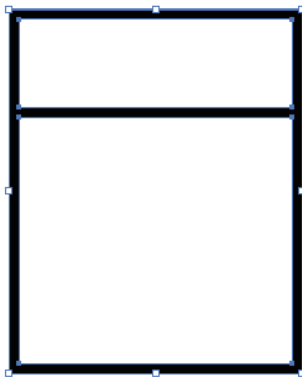
まだ塗りのデータが分かれているので、異なった彫刻をされてしまいます。



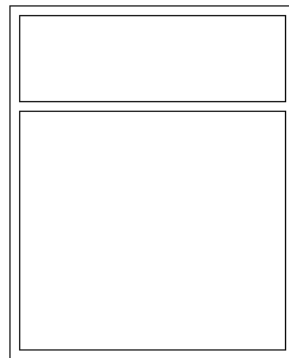


パスが選択された状態で【パスファインダー】から
形状モード → 合体 選びます。

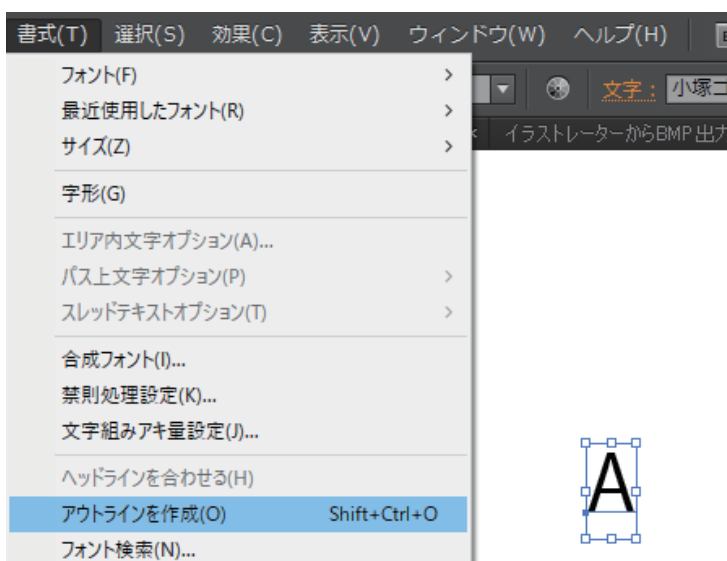
通常 (プレビューモード)



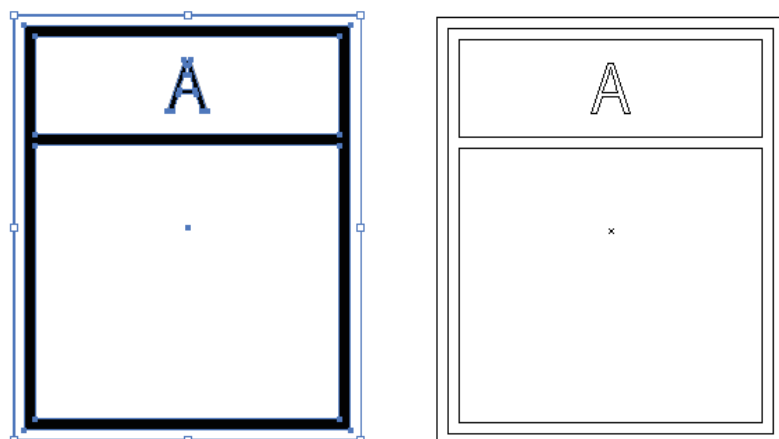
アウトライン表示 (Ctrl + Y)



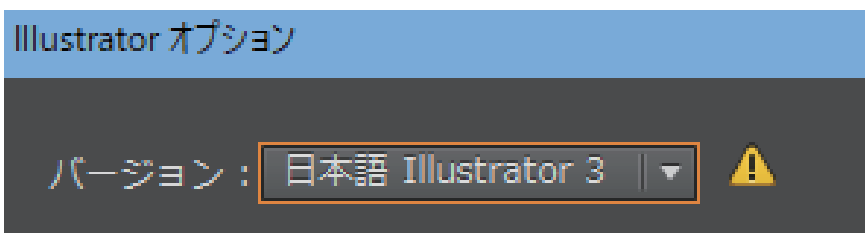
文字もアウトライン化させていきます。
線の情報を増やし、太らせている場合は同様に
パスファインダー → 形状モード → 合体
の作業をしてください。



彫刻範囲を示すパス（線・塗り 無し）を外枠に配置し、
バージョンを【日本語 Illustrator3】まで下げて保存してください。



ファイル名(N):	A	保存(S)
ファイルの種類(T):	Adobe Illustrator (*.AI)	キャンセル



インポート時の画像

